

測定結果報告 2011年11月9日～12月8日

静岡放射能汚染測定室調べ 測定値の単位はベクレル/kg、()内の数値は検出限界値(単位はベクレル/kg)
 ・検体重量(g) ・NDは不検出 ・「↓」は検出限界値以下

	産地	食品名	重量(g)	セシウム134	セシウム137	合計
	秋田県大潟村	玄米(H23年産あきたこまち)	647	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県焼津市中里	白米(H23年産)	648	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	千葉県山武市	白米(H23年産)	698	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	宮城県栗原市	白米(H23年産)	619	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県富士宮市浅間大社	湧き水(H23年11月採取)	651	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県掛川市大坂	さつまいも(水洗いし皮のまま)	588	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県榛原郡川根本町	自家製柚子ジャム(H23年産)	986	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
※1	静岡県掛川市	玄米のもみがら(H23年産)	83	ND(10↓)	ND(14↓)	ND
	長野県木曽郡木曽町開田高原	原木生しいたけ(H23年11月産)	353	ND(3↓)	ND(4↓)	ND
※2	埼玉県久喜市	白菜(11月産)	304	ND(3↓)	ND(4↓)	ND
	群馬県利根郡昭和村	キャベツ(12月産)(2回水洗い)	481	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	長野県木曽郡開田高原	乾燥椎茸(半日天日干し H23年6月製造)	113	ND(8↓)	ND(11↓)	ND
※3	京都市	定食一食分	650	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	愛知県知多半島新水谷	湧き水(純米料理酒用の仕込み水 H23年11月採取)	535	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
※4	アメリカ(小麦粉)	食パン(賞味期限H23年11月22日)	421	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	静岡県島田市	緑茶(H23年8月産二番茶)	296	41	57	98
※5	静岡市清水区中河内	緑茶(H23年5月産)	312	243	338	581
※6	静岡市清水区中河内	緑茶(H23年5月産 一煎目)	587	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
※7	静岡市清水区中河内	緑茶(H23年5月産 二煎目)	591	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	アメリカ・カナダ	丸大豆納豆(賞味期限 H23年11月22日)	594	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県袋井市	牛乳(H23年10月購入)	584	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県掛川市	玄米(H23年産)	625	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
	千葉県木更津市	玄米(H23年産)	602	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	京都府丹後半島	かぼちゃ(水洗いし、種を取り皮付き)	632	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
※8	北海道(大豆)	味噌(製造年月日 H22年12月)	794	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
	千葉県夷隅郡大多喜町	白米(H23年産)	619	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	長野県長野市	りんご(10月 王林)(水洗いし、芯を取り皮付き)	555	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	群馬県邑楽郡板倉町	白米(H23年産)	645	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県伊豆の国市	沢の水(H23年10月採取)	514	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県浜松市東区半田町	玄米(H23年産)	546	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	栃木県日光市	井戸水(H23年8月15日採取)	546	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	栃木県芳賀郡波賀町	白米(H23年産)	574	ND(2↓)	ND(2↓)	ND

	産地	食品名	重量(g)	セシウム134	セシウム137	合計
	愛知県新城市	玄米(H23年産)	578	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	茨城県稲敷市	玄米(H23年産)	568	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	栃木県真岡市	玄米(H23年産)	658	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県浜松市北区	牛乳(賞味期限H23年10月17日)	710	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡市清水区山切	月桂樹の葉(H23年10月収穫)	250	9	13	22
	静岡県浜松市北区引佐町	牛乳(賞味期限H23年10月14日)	595	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	青森県青森市	ヤーコン葉(乾燥状態で測定)	108	ND(12↓)	ND(17↓)	ND
	青森県上北郡横浜町	じゃがいも(水洗いし、皮付き)	708	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	群馬県利根沼田市	キャベツ(H23年12月産)(葉をはがし流水で洗う)	393	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	愛知県知多市大興寺	玄米(純米料理酒の原料米・H23年9月産)	681	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	鹿児島・佐賀・大分県(小麦粉)	蒸し菓子・プレーン(H23年11月8日製造)	232	ND(4↓)	ND(5↓)	ND
	鹿児島・佐賀・大分県(小麦粉)	蒸し菓子・竹炭(H23年11月8日製造)	509	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
※9	鹿児島・佐賀・大分県(小麦粉)	蒸し菓子・抹茶(H23年11月8日製造)	480	ND(4↓)	ND(4↓)	ND
	愛知県知多市(梅)	梅酒(梅はH23年6月中旬収穫)	534	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	鹿児島県大島郡喜界町	炒り胡麻白(H23年10月29日製造)	373	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	静岡県焼津市	もち米玄米(H23年産)	593	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	アメリカ産・カナダ産	ソーセージ(賞味期限H23年11月)	592	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	大分県日田市	玄米(H23年産)	593	ND(2↓)	ND(3↓)	ND

測定についての補足

- * 1**
測定室だより第5号で報告した静岡県掛川市の玄米のもみがら。
- * 2**
縦割りにし、全体を2回水洗い後に測定。
- * 3**
定食一食分をミキサーで攪拌した状態のものを測定。
定食のメニュー：玄米ご飯・味噌汁・豆腐ハンバーグ・さつま芋の煮物・小松菜のおひたし・グリーンサラダ
- * 4**
主原料の食パンの小麦粉の収穫時期：H22年6～8月末
- * 6・* 7**はどちらも *** 5**の茶葉を使用
- * 6**
茶葉 30g(6人分)を80℃に冷ましたお湯700mlで1分間おいて飲用にした一煎目。
- * 7**
*** 6**の一煎目の茶葉を80℃に冷ましたお湯700mlで10秒間おいて飲用にした二煎目。
- * 8**
手造り味噌店の味噌。麴の米は宮城県産、塩は青森県産・瀬戸内海産
- * 9**
抹茶は、主に京都市産・他三重県産。収穫時期は、H23年5～6月。



■ 第5回『放射能を話そう♪』 11月24日(木) 報告

11月24日(木) 13:30~15:40

報告者 竹内せつ子

参加者 24名 乳児4名(会員13名 一般5名) スタッフ6名) スカイプ参加者 3名

小春日和の穏やかな陽射しの中、11月の「放射能を話そう♪」は、いつもより少人数でゆったりとスタートしました

測定中のスペクトルデータの見方や、測定品による検出限界値の違いなどの説明がありました。測定時間の長さや(当測定室では8~12時間測っています)、検体の重量で検出限界値は、随分変わってきます。



参加者からの声として、

◇3月に埼玉県から避難されてきた方は、お子さんが鼻血をよく出すようになり、母乳を飲んでも鼻血が出て、自分も下痢をするようになり、仕事を退職したこと。また、お子さんの保育園でも鼻血を出す子が何人かいた。

◇学校給食の食材が心配・・・。

(測定室より: 「静岡県の場合、牛乳は各地域、静岡県産のものなので、各地の牛乳を測定しているが検出されていないので現在は安心)

◇瓦礫処理受け入れを静岡市はどう考えているのか? 焼却場ではバグフィルターでダイオキシン等は処理しているが、放射能は外に出ることはないのか?

◇子供が小さいので、10年、20年先のことを考えて、自分たちにできることをするために一緒に勉強していきたい。

◇若いお母さんたちは子育てで大変、その上の世代の自分たちが声を上げ行動していったらどうか。

◇福島周辺では避難したくてもできない人たちがいる。経済的なことだけでなく、家族の中でも悩んでいる。私たちは無関心ではいけない。福島を思う気持ちを届けたい。(スカイプからの声)

等々皆さんそれぞれの想いを語っていただきました。

測定室の馬場代表から福島、宮城県訪問の報告がありました。

「新幹線に乗っていても原発の近くになると放射線量が上がります。そんな中、子どもたちは普通に生活しています。お会いしたお母さんたちは疲れているのか、なかなか理論的に考えられない。あるいは、起こっていることを考えたくないのではないかと感じました。放射能を通して一人ひとりの生き方を問われているのだと思いました。」



話し合いを通して、原子炉から一度外に出た放射能は私たちの生活全般に関わる深刻な問題であり、それとどう向き合うかは私たち自身の問題なのだと思います。

◆第5回『放射能を話そう♪』 参加者の感想

静岡市 支援交流『虹っ子』M・O

自分は静岡市在住のサラリーマンで、2歳と4歳になる娘がいます。

3・11以降、自分の中で世界が変わりました。テレビで原発建屋の崩壊した映像を見た時、立ちすくんで動けなかった自分を今でもはっきり覚えています。

この原発事故は自然災害でもあり、人災でもあると思いました。そしてその人災には、無知・無関心だった自分自身も含まれていると感じました。

震災後、自分の中で「被災地支援」「浜岡原発の永久停止・廃炉」そして「自分自身の放射能防衛」が大きなテーマとなりました。

「放射能防衛」に関して静岡に住んでいる自分は、軽度に放射能を避ける事と排出や免疫力を高める事を考えました。

でも知識・経験に乏しい自分には、迷いがありました。軽度に避けるだけで本当にいいのか？子供まで自分の生活スタイルに巻き込んでいいのか？

そんな時に今回プラムフィールドで馬場さんの話を聞き、とても共感でき、嬉しかったです。

馬場さんは長い経験と科学的根拠に基づいて、色々な事を優しく・厳しく話してくれました。

食品や母乳に関しては、「放射能だけに囚われ過ぎてはいけない。農薬やホルモン等の問題もある」「同じ3ベクレルであれば、母親の母乳と牛の乳ではどち

らで育てるのが良いか？（私は）チェルノブイリの事故後に次男を出産し、母乳も測定したので放射能は検出されていた。けれど、たとえ少量の放射能が含まれた母乳であっても、自分の母乳で育て、我が子は元気に成長している。」「牛の乳と親の乳は放射能の汚染値で比較するものかどうか、考えて欲しい」と話してくれました。

瓦礫問題に関しては「本来放射性廃棄物は動かさないことが原則」とのお話も聞きました。

浜岡原発の再稼働問題に関しては、「かりに、住民投票で過半数を取れなければ、（私は）あきらめる」と話されました。その言葉には、『必ず勝つ』というとても強い意志を感じました。

今はとても大切な時だと思いました。不安や怒りで自分を見失わず、一人一人の生き方・生きる力が問われている様に思えます。

このような場所を作って頂き、馬場さん・スタッフ・参加者の皆様に感謝です。

■粉ミルクメーカーの放射性物質の検査態勢 毎日新聞 2011年12月14日

	3月11~31日 製造分の検査	ヨウ素131	セシウム 134、137	工場所在地
明治	3月21日製造「ほほえみ」原料粉のサンプル検査	検出限界 10%以下	同10%以下	埼玉県春日部市
森永乳業	製造再開した3月15日から全銘柄のサンプルを検査	検出限界 5%以下	同5%以下	東京都東大和市、特長野県松本市
和光堂	全2銘柄のサンプルを製造再開日から検査。「はいはい」は3月20日、「くんくん」は同28日	検出限界 10%（一部20%）以下	同10%以下	栃木県さくら市
ピーンスターク・スノー	全銘柄のサンプルを12月6日以降検査	検出限界 10%以下	同10%以下	群馬県大泉町
アイクレオ	3月17、18日に製造した2銘柄のサンプルを検査	検出限界 2.5%以下	同2.5%以下	兵庫県丹波市
雪印メグミルク	全銘柄のサンプルを12月6日以降検査	検出限界 10%以下	同10%以下	群馬県大泉町

※ベクレルは1kg当たり。08年の販売シェア（日刊経済通信社調べ）順

毎日新聞 2011年12月10日

市民団体「みんなで決めよう『原発』国民投票」が10日、原発の賛否を問う住民投票条例の制定を東京都と大阪府に求める署名活動を始めた。同団体は6月に発足し、俳優の山本太郎さん、漫画家のちばてつやさん、映画監督の小林聖太郎さんらが請求代表者に名前を連ねている。東京・渋谷で賣い物客らに署名を呼びかけた小林さんは「これは反原発運動ではない。原発賛成派も反対派も一緒に賛成を付議し、審議される。って議論しあえる場をつくりたい」と話した。

「住民投票条例」求め署名活動 渋谷

条例制定を石原慎太郎都知事に直接請求するには、東京の有権者の50分の1（約21万4200人）以上を署名を2カ月以内に集めなければならない」と述べた。【武内亮】

瓦礫問題について

今日 (12/14)、お母さんを手伝って、障子の張り替えをしました。あまり大胆に障子紙をカットするので、「その性格が娘に遺伝しなくてよかった」と言いながら、お父さんが代ったのですが、お母さんに「あなたも性格が変わったみたいね」と言われてしまいました。「これは、性格ではなく視力のせいだ」といっても障子紙は元には戻らない・・・。

静岡の瓦礫の受け入れはどうなっていますか。大阪は受け入れそうな雰囲気です。京都はもうすぐ市長選だから、選挙が終わるまで受け入れの話はあまり表には出ないと思います。とにかく、放射能が漏れると、もうどうしようもない、視力のせいでできないよね。環境に漏れる前に止めないと・・・。瓦礫の受け入れの反対をしているという意味を市や県の担当部署に伝えるのが有効だと思います。放射能で新しい苦勞を背負い込まないためにも。同時に高濃度に汚染されている地域に住む人のことも心に留めておいてほしいと思います。

昨日、NHK のニュースで、「杉並の小学校 極めて高い放射性物質 (NHK NEWS WEB 12 月 13 日 18 時 6 分)」を見ました。

「東京・杉並区の小学校で、ことし4月上旬まで校庭に敷かれていた芝生の霜よけシートから、1キログラム当たり9万600ベクレルの極めて高い放射性セシウムが検出されたことが分かりました。この数値は国がそのまま埋め立てることができるとしている、1キログラム当たり8000ベクレルの10倍を越す数値で、杉並区はこのシートを他のごみと混ぜて焼却する方向で検討しています。」

そのあとにお父さんの大好きなブラック・ジョークが書いてありました。ちょっと面白いから書いておきます。

「東京・杉並区の小学校で、・・・(中略)・・・放射性物質が付着したがれきや、一般ごみを燃やした灰について、環境省は、放射性セシウムが1キログラム当たり8000ベクレル以下であれば、そのまま

埋め立てることができるとしています。このため杉並区は環境省と協議した結果、「シートにほかのごみを混ぜて焼却して、8000ベクレル以下にすれば埋め立てられる」として、このシートを焼却する方向で検討しています。」

お前ならお父さんが噴出しそうになったのもわかるでしょう？ セシウム-137 が10000ベクレル/kgを超えたら、放射線障害防止法の適応を受けることは知っているよね。もしこのやり方が許されるのなら、どんなに高い放射能を含むものでも、放射線障害防止法を無視して一般の焼却場で燃やすことができることになります。他の汚染のないものと混ぜればよいのですから・・・。放射性物質を取り扱ういろいろな事業所(大学など)から出る放射性廃棄物も、他のゴミと混ぜれば(放射能のレベルからいえば混ぜなくても)市町村の焼却場で燃やせることになります。今後、事業所(大学など)は高い処理費用を払ってアイソトープ協会に放射性廃棄物を引き取ってもらわなくても良くなります。

こっそりと市役所のゴミ箱へ・・・、あ、これは放射能の問題ではなくて行為自身がいけないことだね。ごめんなさい。

「覆水盆に返らず」という言葉を知っているよね。環境に放出された放射能はまさにこの覆水です。

でもお盆にはまだ水がたくさん残っているよね。こぼれた水の事ばかり考えていると、新たにお盆から水がこぼれてきた時どうしたら良いか分からなくなってしまふから・・・。お盆からこぼれた水のことを考えると同時に、お盆に残っている水のことも考えてほしいと、お父さんは思います。

頑張っている娘へ

京都の父より

■ 静岡市の瓦礫問題

＜特集＞静岡市における東北地方の瓦礫受け入れについて

1、静岡県受け入れの瓦礫問題について、ヤングママ行動報告

プラムフィールドで月1回、学校給食について、意見交換や講演会の企画などを行っている“静岡・学校給食探検隊”の例会に、測定室の会員さんなど、若いママさんが加わって下さるようになりました。

12月15日（木）の例会に参加して下さった方から、「知事さんに会って、お願いしてきました！」という素敵な話を聞かせていただきましたので、皆さんにもお裾分けをさせてください。

この県知事との突撃会見は、ミクシーで情報交換をしている仲間同士呼びかけて、賛同した人たちが現地に行って実現したそうです。IT情報を使いこなせていない私たち世代の参加者は、ただただ爽やかな感動と、次世代を担う人々の真っ直ぐな行動に感謝して、喜びいっぱい例会になりました。

以下、そのママさんの報告記です。(by 馬場)



11月17日、サントムーン柿田川(駿東郡清水町)の支援センターに 川勝知事が絵本の読み聞かせに来る という情報をツイッターで知り『瓦礫受け入れ反対!』の直談判に行ってきました!

前日に知ったので急遽、行ける仲間を集い(ママ6名)、知事は多忙だろうからと考え意見書を持参。意見書は手書きで、放射能の汚染マップや手に入るデータをコピーしたりして資料も付けました。

川勝知事は、読み聞かせをしてすぐに部屋を退出～追いかけるように知事を取り囲み、まずは「浜岡原発を停止して下さい ありがとうございます」とお礼を言いました。不安を少し述べたところで秘書の方に、「予定がありますから」と切り上げられてしまいましたが、知事は私たちの話を聞いて下さいました。資料も受け取ってもらえました。「やれることはやった!」と私達は思いました。居合わせた清水町町長さんが帰りに『あなた達の行動はすごいよ!お母さんたちの生の声を知事さんに伝えるのが一番伝わるよ!よく頑張ったね!』激励してくれました。

数日後 ニュースで川勝知事が細野大臣に『幼い子どもさんを持つ若いお母さん方が瓦礫受け入れに不安を抱いている。安全性が確認されなければ受け入れはできない』と提言して下さいっていて、涙があふれました。何かが変わるきっかけの行動になったなら良かったなと思いました。

興津在住 H・K (32歳)



写真 山田町のHPより

2. 静岡市が受け入れるという瓦礫搬出先の自治体に取材をしました。

馬場利子取材報告

結論は・・・両町とも「静岡県が受け入れを決めていないので、まだ、何も決まっています」でした。

静岡市議会で瓦礫受け入れ問題が議論された資料から、静岡市に搬入される瓦礫は岩手県大槌町と岩手県山田町の2町が挙げられている事が分かったので、12月6日、大槌町と山田町の担当職員に、電話でインタビューをしました。

- ①貴市の瓦礫は現在どの様な分別がされているか？
- ②静岡市が受け入れを依頼されているのは、どんな内容物か決まっているか？
- ③搬出する場合、放射線測定をどの様に行うか、国や県のガイドラインが決まっていれば教えて欲しい。
- ④静岡市に依頼した瓦礫処理後に出る焼却灰は、どちらの自治体で処分するのか、分かっているか教えて欲しい。

以上について、町役場に電話をし、自己紹介をして担当官に質問をしました。

●岩手県山田町では、

(<http://www.town.yamada.iwate.jp/>) 担当職員 S さんが、ちょっと東北訛りのある口調で親切に話して下さいました。

「瓦礫は通常のごみの様に分別し、木材はチップに加工して燃料として利用。金属やガラスなどの資源は分別してリサイクルし、プラスチックも分別できる物はするので、受け入れてもらえるのであれば、通常、分別できない家庭ごみのような内容物をお願いすることになると思う。しかし、まだ、静岡県からも国からも何も指示や報告が来ていないので、実際は静岡市にお願いする事も全く未定です放射線量の測定をどうするか、残り灰をどう処理するかも、国から通達もない状況です」というお話でした。

電話の中では、瓦礫問題だけでなく、震災後に行政がやらなければならない事がたくさんある町の状況もお話を聞きました。

●岩手県大槌町役場、地域政策課 I さんのお話。

「大槌町は、町職員もたくさん罹災し、町だけでは

とても復興事業は出来ないの、瓦礫問題も岩手県にお願いして、県が代理ですべて行ってくれることになって居ます。岩手県は、大槌町の瓦礫処分を行う業者をプロポーザル方式で選定したと報告を貰っています。選定された業者が分別の条件に沿って行うと聞いているが、静岡市が大槌の瓦礫を受け入れるとは聞いていません。詳しい事は県に聞いてみてください」というお話でした。

「職員の多くが罹災し・・・」という現地の状況を直接、声にして聴き、『瓦礫』や『放射能』についての関心で問い合わせをしている自分自身を申し訳なく思い、「個人的な関心でお仕事のお邪魔をして申し訳ありませんでした」とお詫びをし、岩手県の担当部局と責任者の名まえを聞いて、電話を切りました。



(写真大槌町 HP より引用、庁舎風景)

●大槌町の瓦礫処理を代理で行う岩手県環境生活部資源循環推進課の K さんのお話。概要は

◎瓦礫の処理費は 100%国が負担。◎岩手県では環境に配慮して分別をする事を条件に、提案型の業者選定を行った。◎瓦礫の分別は、木材、プラスチック、資源物、可燃ごみに分ける。◎静岡市への搬出は決まっていない。◎静岡県が引き受ける事を決めた段階で、どの様な依頼をするか決めることになる。◎放射線の測定についても、国から決まった指示はまだない。◎焼却後の残り灰は、実際にどこで行うかは聞いていない・・・と云う内容でした。

静岡市、静岡県の瓦礫受け入れは、12月6日現在では、何も決まっていないという事が分かりました。瓦礫の処理は、日本を縦断して遠くに運び、環境に負荷を掛ける必要があるのでしょうか？

電話をした3自治体職員の担当者に、焼却処分ではないごみ処理方法を検討する事を希望する旨を、伝えて取材を終えました。静岡市以外の地域では、どのような状態でしょうか？

■ お知らせ

第6回 “放射能を話そう（今回は離そう）♪” は1月26日（木）

～ 伝統食品 味噌づくりをします！！ ～

放射能の排泄を助けると言われている発酵食品… その代表選手である味噌を手作りします。市販の味噌は殺菌のために工業用アルコールを添加してあったり、原料の大豆が脱脂加工大豆や遺伝子組み換え大豆だったり。安心して食べるために、原料にこだわりました。

《材料》

大豆：平成22年産北海道産有機栽培大豆（セシウム134・セシウム137共に不検出（2Bq/kg以下）
塩：モンゴルの一億年以上前の天然岩塩（セシウム134・セシウム137共に不検出（2Bq/kg以下）
麴：平成23年愛知県新城産有機減農薬栽培米（セシウム134・セシウム137共に不検出（2Bq/kg以下）
大豆・塩・麴原料の米 総て当測定室で放射能汚染測定済

日時：2012年1月26日（木） 13:30～15:30
場所：静岡市葵生涯学習センター（アイセル21） 2階 食工房
（静岡市葵区東草深町3-18 プラムフィールド近）
参加費：1人 1000円（味噌を作らないお子さんは無料）
講師：DO（ど）みそくらぶ の田中 美幸さん

持ち物：エプロン・フキン

申込み：1月17日（火）までにお申し込み下さい。（先着25名）
T/F 054 (209) 2021 月～金 10:00～16:00 プラムフィールドまで

作った味噌800gをお持ち帰りいただきます!! 味噌汁も試食します♡
当日、800g以上、多く味噌を仕込みたい方はご連絡ください。（その際は容器持参の事）

主催：静岡放射能汚染測定室&プラムフィールド

■ 測定室の春休み

プラムフィールドの春休みに合わせて 3月29日（木）～4月4日（水）まで春休みをいただきます。この間に、測定器の調整、メンテナンスを行い測定に備えたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■ 2011年 測定室から

● 2011年6月11日測定再開、測定室の6カ月を振り返って

『 測定したデータを多くの人と共有する 』

馬場利子記

3月11日の大震災に次いで起こった福島原発の爆発、メルトダウン事故は、全世界を放射能で汚染するという痛手を命あるもの全てに与えて、今なお、その全容はつかめない状態が続いています。

静岡放射能汚染測定室は、先の見えない放射能汚染が広がる中、私の心の中で4月10日から、活動の再開を準備し始めました。

測定室の前身である“浜松放射能汚染測定室”は1988年（チェルノブイリ原発事故後2年目）、市民有志に呼びかけを行い、測定器を構築し、測定活動を始めました。以来、23年目の今年、もう何年も測定をしていなかった測定器は、本来ならば再構築することなく、静かに休ませているのが望ましい姿のはずでしたが、3月14日から呼びかけた『浜岡原発を止めてください』という要望書への賛同者を集約しながら、静岡市の空間線量が桁違いに増加している現実とその事実を仲間には言えない状態が続き、毎夜1人で泣く事しかできない時期がありました。

どうしたら良いか考えても、放射能は元には戻せないのですから、離れるか、無い事にするか・・・、あまりの息苦しさにも、もしかしたら、放射能では何の被害が出ていないかもしれない、とさえ考えるようになっていく自分自身に出会い、愕然としました。

そんな時、要望書の賛同者名簿の整理に途方に暮れているプラムフィールドに、見ず知らずの方がPCの技術協力を申し出て下さいました。また、賛同して下さいました方たちが遠方から次々と静岡を訪ねて下さるなど、人々の意識と流れが未来に向かって進んでいる事を実感する出来事に背中を押されて、放射能汚染に対して、「私たちができる事」に向う決心をすることができました。

測定を再開するに当たっては、測定室となる『場』をプラムフィールドのスタッフが了解をしてくれま

した。23年前、一緒に活動を始めた人が、今回も機器の再構築の全てを担当して下さいました。アドバイザーお二人は、専門家であるからこそ、未来への見通しは決して甘くなく、「この放射能汚染はまさに戦争です」という言葉と共に、「出来る事は何でもしましょう。子どもたちの内部被曝を避けるためには測って知ることが大事です」という励ましをいただいで、現在があります。測定結果の定量は、現在もアドバイザーの方の協力で数値を出しています。

母乳、お茶、牛乳、秋からはお米や農産物の測定が続いています。測定検体数は250以上になりました。多くの測定依頼をいただいて、いつも予約が1カ月先まで埋まっていますが、1日に多くの検体数を測る事よりも、検出限界を下げて、実態を現す数値が得られるまで測定をする方針は変えないで歩みます。

そして、**活動の中心は「測定したデータを多くの人と共有する」**事です。

1品、1品の数値も大切ですが、食べ物と放射能汚染の関係を眺められるようになるには、多くの測定品の様子を知る事が不可欠だと思っています。半年の間、皆さんが測定に関心を寄せ、測定結果を共有して下さいている事に支えられて、測定スタッフは動かせてもらっています。本当にありがとうございます。

まずは1年、その中で得られた測定データを持って、行政に働きかける事も来年は行いたいと思っています。何よりも、低線量被曝の健康リスクについて、生活者である私たちが共通認識を持つことで、地域の政策や国の指針も変えて行けるように、学びつつ生活を再検討しながら、社会を創る一翼を担う意識を持ちたいと思います。来年もご一緒によろしく願います。

● 測定器の現状

私たちの測定器について、測定再開当初、市民測定室を作りたいという人たちから「機種名を教えてください」という問い合わせが多くありました。



静岡放射能汚染測定室の「働き者の測定器」

ご覧のとおり、NAI シンチレーションカウンターとマルチチャンネルアナライザー（MCA）、高圧電源、

などを組み合わせて研究者が構築して下さった測定器ですので、一体型の測定器ではありません。放射線を測定する専門家が、私たちの測定器の生みの親であり、この測定器には、多くの原発に異論を唱えた人々の心の声と活動と働きが刻み込まれています。測定再開には心臓部が崩れていたため、MCA を新調して交換していますが、クラシックカーの保守点検に労力と費用が掛かるように、8 月には測定解析が揺らいで正確な測定が出ない状態になりました。そのため、現在もこの老練な機器は親切で信頼できる技術者（測定室顧問の渡辺氏）に手厚く見守られ、補修をしてもらっています。

なにしろ、測定器は年を取っています。いとおしい機器ではありますが、皆さんにも安心して測定していただけるように、来年は測定器の補修と再構築について、アドバイザーや顧問と協議をして、新機種の購入も含めて検討をする予定です。12月20日現在、測定器はご機嫌に働いてくれています。

■ 現在の会員数

12月26日現在の会員数

特別会員	2人
団体会員	10人
会 員	116人
情報会員	83人
旧 会員	15人
合 計	226人



待ちに待った1冊の本が出版されました。大阪の医師が中心となって活動している『医療問題研究会』がまとめた『低線量・内部被曝の危険性—その医学的根拠—』と題する冊子です。

冊子の定価は 1050 円ですが、今回は 1000 円＋送料（1冊 80 円）でお送りします。購読ご希望の方は、プラムフィールドまでお申込みください。

(宛名)

測定室活動日誌

- 11月30日(水)『測定室だより』第5号発行・発送
12月1日(木)焼津より測定室に来客
12月5日(月)焼津市「せんたく日和」主催、
講演会講師(馬場)
12月8日(木)パルシステム静岡、測定室取材訪問
12月11日(日)滋賀県・暮らしを考える会主催
講演会講師(馬場)
12月12日(月)『測定室だより』第6号、編集開始
12月13日(火)岐阜県岐阜市『つながる命 福島』
主催、お話し会講師(馬場)
12月14日(水)岐阜県加子母『つながる命 福島』
主催、講演会講師(馬場)
12月15日(木) 静岡市学校給食探検隊例会
SBSテレビ取材 ・ 朝日新聞取材
測定室スタッフミーティング
12月16日(金)静岡県熱海市「ハッピーライフ主
催」 講演会講師(馬場)
12月28日(水)『測定室だより』第6号、印刷・発行
12月29日(木)～1月4日(水)

プラムフィールド&測定室 冬休み

測定器のメンテナンス・調整。

測定室による調査のための測定を年内継続。

編集・発行：静岡放射能汚染測定室 事務局
〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内
TEL/FAX 054-209-2021 (月～金 10:00～16:00)
測定室Ph 070-5034-0920 (月～金 9:00～17:00)
e-Mail ssokuteisitu@yahoo.co.jp
URL <http://sokuteisitu.plumfield9905.jp>

プラムフィールドの窓・測定室の風

二〇一一年も終わろうとしています。測定室の活動を一緒に下さり、ありがとうございます。会員の皆さまに心から感謝いたします。放射能汚染は取り返しのない人災ですが、放射性物質の振る舞いは『物質が安定に向かう』という一つの現象でもあります。放射性物質が物理的な安定を求めて、食べ物などの様に移行していくのか、しっかりと観察し、三〇年以上続くセシウム137の影響を少しでも少なくできるように、来年も観察を続けたいと思います。来年が今年より明るい兆しが見えますように。そして皆様の上に、喜びが多く訪れますように。

《スタッフ・紹介》

大好きな馬場利子さんをご紹介します。

私にとって馬場さんは立派な樹木のイメージです。スツとまつすぐに伸びた幹。深く張られた根。暑さや雨をしのぐ木陰、美味しい果実、羽を休める枝、落とした枝葉は虫たちの隠れ家。あらわれの全てが強さと優しさ、温かさ。愛で満ち溢れています。こうなりたいって憧れる人です。

どんな時も前向きに、何ができるかを考える為の気づきをいっぱい下さいませ。
— スタッフというよりただのファン野村真里 —

《スタッフのつぶやき》

放射能を測定しているという事で、全国から講演の依頼をいただくようになりました。私の活動テーマは『化学物質と子どもの健康』です。放射能も健康リスクの一つと捉えて、暮らしを見直すきっかけにしてみたらという願いを込めて、各地に伺っています。不在にしても、測定を着実にして貰えるスタッフの働きに一〇〇%助けられている私です。測定室の作業は膨大です。

それを難なくこなしているスタッフに心から感謝しています。来年もよろしく願います。

測定室代表 馬場利子